

## 第18回日本老年医学会

# 高齢者介護・看護・医療フォーラム

～地域で認知症をささえるために～

日時

平成26年 **11月1日** (土) **参加費無料**  
13:30～16:30

場所

**札幌医科大学記念ホール**  
札幌市中央区南1条西18丁目

主催：日本老年医学会

事務局：札幌医科大学医学部 神経内科学講座

お問合せ先 **TEL** 011-611-2111 **FAX** 011-622-7668



## PROGRAM

開会挨拶	13:30～13:35	札幌医科大学 学長・理事長 島本和明
基調講演	13:35～14:15	『我が国の認知症政策～特にオレンジプランを中心に～』 座長：札幌医科大学 学長・理事長 島本和明 演者：国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長 大内尉義
シンポジウム	14:15～16:25	『北海道における認知症をささえる介護・看護・医療連携』 座長：札幌医科大学医学部神経内科学講座 教授 下濱 俊
1	14:15～14:35	『北海道における認知症対策について』 演者：北海道保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課 課長 鈴木隆浩
2	14:35～14:55	『認知症医療連携における医師の役割－早期発見・早期治療を目指して－』 演者：特定医療法人さっぽろ悠心の郷 ときわ病院 院長 宮澤仁朗
3	14:55～15:15	『認知症高齢者への看護－看護師の役割－』 演者：医療法人愛全会 愛全病院 認知症看護認定看護師 森 真紀
4	15:15～15:35	『認知症高齢者の支援と福祉の課題～地域医療連携とPSWの役割～』 演者：医療法人社団大蔵会 札幌佐藤病院 精神保健福祉士 宮本登世
5	15:35～15:55	『ホームヘルパーから視る認知症高齢者の実情』 演者：七飯町社会福祉協議会 訪問介護課 岩田志乃
全体討論	15:55～16:25	
閉会挨拶	16:25～16:30	札幌医科大学医学部神経内科学講座 教授 下濱 俊

第 18 回日本老年医学会 高齢者介護・看護・医療フォーラム  
～地域で認知症をささえるために～

平成 26 年 11 月 1 日(土)13:30～16:30 参加無料  
札幌医科大学 記念ホール (札幌市中央区南 1 条西 18 丁目)

PROGRAM

- 開会挨拶 13:30～13:35 札幌医科大学 学長・理事長 島本和明
- 基調講演 13:35～14:15 『我が国の認知症政策～特にオレンジプランを中心に～』  
座長：札幌医科大学 学長・理事長 島本和明  
演者：国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長 大内尉義
- シンポジウム 14:15～16:25  
『北海道における認知症をささえる介護・看護・医療連携』  
座長：札幌医科大学医学部神経内科学講座 教授 下濱 俊
- 14:15～14:35  
1 『北海道における認知症対策について』  
演者：北海道保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課 課長 鈴木隆浩
- 14:35～14:55  
2 『認知症医療連携における医師の役割－早期発見・早期治療を目指して－』  
演者：特定医療法人さっぽろ悠心の郷 ときわ病院 院長 宮澤仁朗
- 14:55～15:15  
3 『認知症高齢者への看護 －看護師の役割－』  
演者：医療法人愛全会 愛全病院 認知症看護認定看護師 森 真紀
- 15:15～15:35  
4 『認知症高齢者の支援と福祉の課題～地域医療連携と PSW の役割』  
演者：医療法人社団大蔵会 札幌佐藤病院 精神保健福祉士 宮本登世
- 15:35～15:55  
5 『ホームヘルパーから見る認知症高齢者の実情』  
演者：七飯町社会福祉協議会 訪問介護課 岩田志乃
- 15:55～16:25 全体討論
- 閉会挨拶 16:25～16:30 札幌医科大学医学部神経内科学講座 教授 下濱 俊

2015 年度 第 57 回日本老年医学会学術集会「認知症」関連

【シンポジウム】 2 題

シンポジウム 2 認知症予防の新展開

シンポジウム 8 認知症の人の暮らしを支える地域包括ケアシステムをめざして

【高齢者医療】

座学形式：認知症の診断と治療

【認知症診療の実践セミナー】

セミナー 1 認知症を理解するために必要な老年医学の知識

- 1) 高齢者医療における認知症の位置づけ
- 2) 認知症 BPSD の問題点とその評価

セミナー 2 認知症診療の実際

- 1) 認知症診断の基礎知識
- 2) 問診と神経学的診察
- 3) 画像の診かたと他の診断ツール
- 4) 薬物治療と対応のアドバイス

【一般演題】 40 題（総演題数 283 題）

【ランチョン】 5 題

認知症治療の現状と課題，今後の展望

認知症の人と家族が安心して暮らせる為には—AD 治療薬の位置づけと地域連携—

レビー小体型認知症の画像診断と治療法

認知症の薬物治療～包括的医療の今後の展望を踏まえて～

レビー小体病（DLB）の今昔物語

【市民公開講座】 1 題

認知症予防の最前線

年度	試験回数	試験日	試験会場	受験者数	合格者数	合格率 (四捨五入)
2010(H22)年度	19回	2010.7.18	都市センターホテル	43名	40名	93%
2011(H23)年度	20回	2011.7.17	JA共済ビル	38名	37名	97%
2012(H24)年度	21回	2012.7.15	都市センターホテル	60名	58名	97%
2013(H25)年度	22回	2013.7.14	都市センターホテル	71名	71名	100%
2014(H26)年度	23回	2014.7.13	都市センターホテル	18名	18名	100%
2015(H27)年度	24回	2015.10.25	大手町サンスカイルーム			